

～土砂災害から命を守る～ 普段から知っておこう

自分の住んでいる土地、地盤、地質の事を知ろう

下記に1つでもあてはまればすぐ備えを！



家が「土砂災害危険箇所*」に建っている
(「土砂災害防止法」では、土砂災害の恐れがある区域を「土砂災害警戒区域」などとして指定・公表しています)

→ **特に注意!** いざという時は区域外へ脱出する準備を

- 山裾の土地に家が建っている
- 家のすぐ後ろが崖になっている
- 傾斜地を造成した土地に建物がある
- 傾斜地で近くに山からの渓流が通っている
- 扇状地の上に家が建っている
- 過去に増水、浸水したことがある

*「土砂災害危険箇所」や「土砂災害警戒区域」「特別警戒区域」は各都道府県の行政の窓口やHPなどで調べることができます。

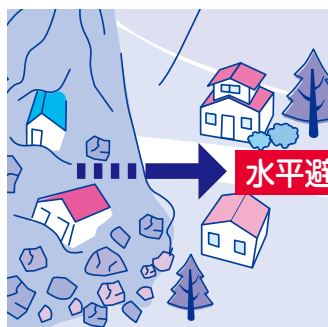
命を守るPoint!

避難場所・安全な場所を知る



自分の住んでいる地域の**指定避難場所**や安全に避難できる**避難経路**を知っていますか？ 家族全員で実際に歩いて確認しておきましょう。

いざという時は… 安全な場所は指定避難場所だけとは限りません。緊急時には、危険区域外の知り合いの家（水平避難）や、近くの鉄筋のマンション、自宅の2階（垂直避難）に避難して助かることもあります。普段から災害の可能性を想定し、**命を守るシミュレーション**をしておきましょう。

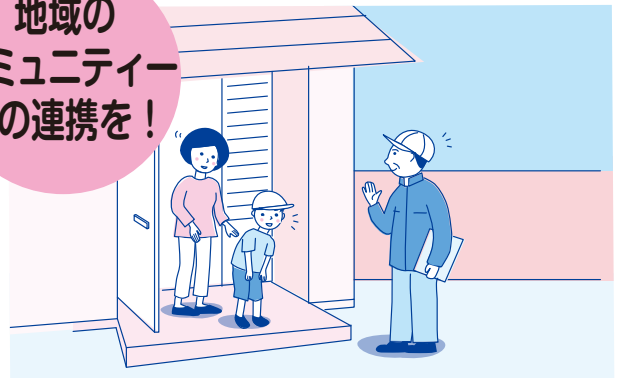


少しでも川・崖より遠くへ



少しでも高いところへ

地域のコミュニティとの連携を!



ご近所さん、自治体のリーダーとは**日頃からコミュニケーション**を取り合って信頼関係を築き、避難訓練などには積極的に参加しましょう。町内会単位の連絡・情報網、防災網は、いざという時の財産です。

早めの避難の準備と心構えを!



今までに経験のない大雨、避難勧告が予想される……などの場合、夜中や朝方の暗い時間帯は身動きが取れなくなることもあります。自分で状況を判断し、**早めに安全な場所に避難**しましょう。何も起こらず避難が無駄になった! ではなく、**災害が無くて良かった!**と思う心がけが大事です。